

(9-②) 校内研究授業「体育科:東っ子ドラマ MIU404ハードル走」

6年5組 吉田学級

7月7日(水) 3校時

7.単元構想シート

第6学年 陸上運動領域「東っ子ドラマ MIU404ハードル走」

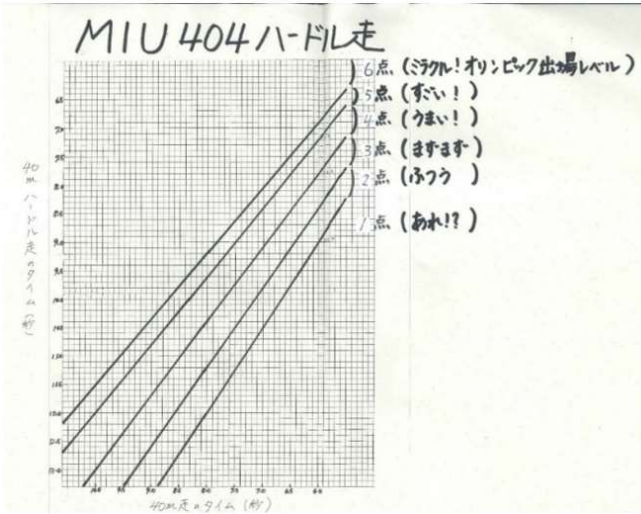
単元目標

- ハードル走の行い方を理解するとともに、できるだけスピードを落とさずにハードルを走り越すことができるようにする。 【知識及び技能】
- 自己や仲間の課題を見つけ、動きを身につけるための活動の仕方と考えるとともに、考えたことを友だちに伝えることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】
- ハードル走に進んで取り組み、ままりを守り、競とても仲良く運動をしたり、友だちの考えやアドバイスを尊重したり、場や用具の安全に気をつけたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】

時間	1	2	3	4	5	6	7	評価基準		
テーマ	ハードル走との出会い		心地よさとの出会い	自分の可能性との出会い			運動の喜びとの出会い	評価基準		
流れ	ハードル走の学習の仕方や、自己の記録、学習課題をつかむ		友だちと協力し、課題解決の仕方を工夫する中で動きを高める			記録に挑戦				
構造的に捉えた単元イメージ	自分の力を確認しよう	課題を見つけよう	3歩のリズムを知ってるかい	第1ハードルをトップスピードで走り越そう	スタートから最後までバランスを取りながらリズムカルに走り越そう	自己ベストを更新しよう		<p>【知識・技能】</p> <p>①ハードル走の行い方について、言ったり書いたり、練習したりしている。</p> <p>②ハードル走3歩のリズムで走り越すことができる。</p> <p>③スタートから最後まで身体のバランスを取りながら真っ直ぐ走ることができる。</p> <p>【思考力】</p> <p>①3歩のリズムや、スピードを落とさずにハードルを走り越すなど、自己の能力に達した課題を見つけ、その課題の解決のための活動を進んでいる。</p> <p>②自己記録やチーム記録の向上を考えたり、記録への挑戦の仕方を進んでいる。</p> <p>③友だちの良い動きや変化を見つかったり、書きたりしたことを友だちに伝えている。</p> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <p>①ハードル走に進んで取り組み合うとしている。</p> <p>②規則を守り競とても仲良く関わろうとしている。</p> <p>③用具などの準備や片付け、友だちと協力しようとしている。</p> <p>④友だちの考えを認めようとしている。</p>		
	タイム測定 ・40m走 ・40mハードル走	リズムがバラバラ	3歩のインターバル	鋭いスタート	跳び降りて真っ直ぐ走る	真っ直ぐ走り越す	振り向きシート 気づきカード 動画の活用		<p>【知能表】</p> <p>①3歩のリズムや、スピードを落とさずにハードルを走り越すなど、自己の能力に達した課題を見つけ、その課題の解決のための活動を進んでいる。</p> <p>②自己記録やチーム記録の向上を考えたり、記録への挑戦の仕方を進んでいる。</p> <p>③友だちの良い動きや変化を見つかったり、書きたりしたことを友だちに伝えている。</p>	
	MIU404ハードル記録表に記入	特くてきかたで走れない	3歩のリズムをいけるといい	スタートの足の位置を決める	動画	動画・スコープ	各自で課題設定			
	さっと早くゴールできるよになりた	高く飛びすぎ	振り上げ足を決める				チームで個人課題を共有		<p>【知能表】</p> <p>①3歩のリズムや、スピードを落とさずにハードルを走り越すなど、自己の能力に達した課題を見つけ、その課題の解決のための活動を進んでいる。</p> <p>②自己記録やチーム記録の向上を考えたり、記録への挑戦の仕方を進んでいる。</p> <p>③友だちの良い動きや変化を見つかったり、書きたりしたことを友だちに伝えている。</p>	
	全日本選手権110m	すごい速さ！リズムがバラバラ！しかも遅い！そしてカッコイイ！	新しい道の設定 ・ミニハードル ・段ボールハードル ・4.4cmハードル(既)	速い3歩のリズム	利き足で踏み切	バランス	抜き足			タイムアタック (記録挑戦の時間)
	オリエンテーション ハードルの魅力 足の速さで戦える！ 学習の進め方 ・記録表の意味 ・ICT活用 ・友だちとの関わり	ハードル走がやりきれる！足の速さで戦える！	ゴールまで全力走ろう！	速い3歩のリズム	利き足で踏み切	バランス	抜き足		タイムアタック (記録挑戦の時間)	<p>【知能表】</p> <p>①3歩のリズムや、スピードを落とさずにハードルを走り越すなど、自己の能力に達した課題を見つけ、その課題の解決のための活動を進んでいる。</p> <p>②自己記録やチーム記録の向上を考えたり、記録への挑戦の仕方を進んでいる。</p> <p>③友だちの良い動きや変化を見つかったり、書きたりしたことを友だちに伝えている。</p>
		チームの結成		速い3歩のリズム	利き足で踏み切	バランス	抜き足		タイムアタック (記録挑戦の時間)	
			速い3歩のリズム	利き足で踏み切	バランス	抜き足	タイムアタック (記録挑戦の時間)			

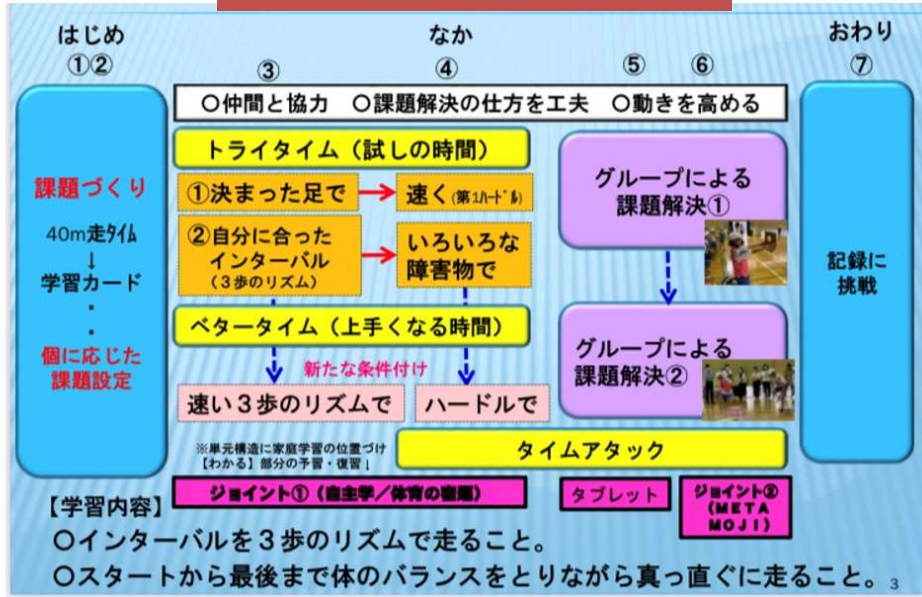
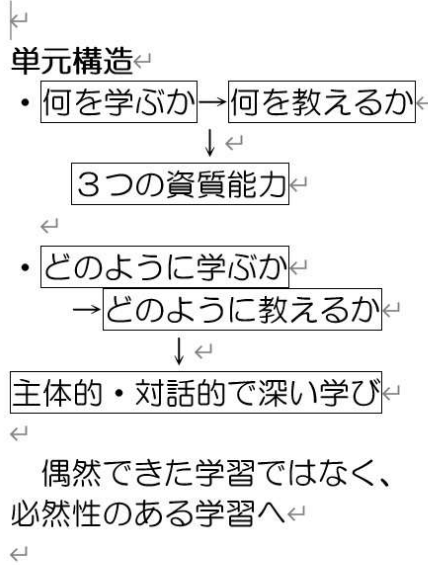
教材の作成

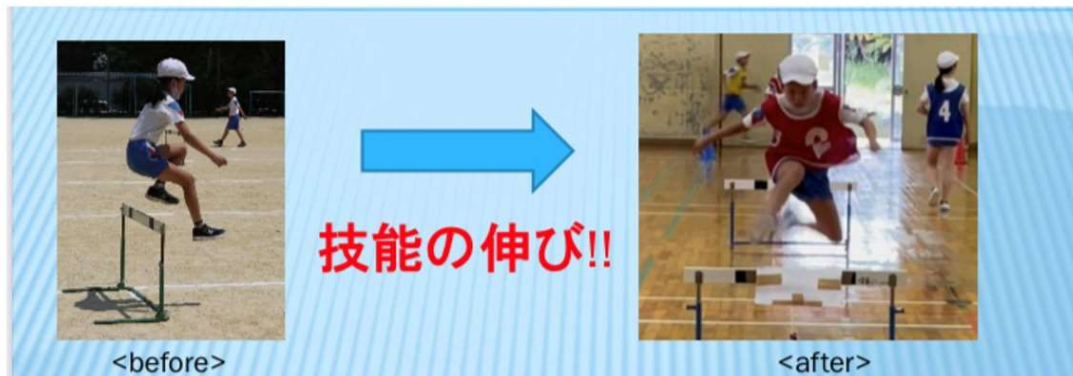
横軸に40メートル走のタイム、縦軸にハードル走のタイム、そして表の中に4本の基準線を引いたオリジナルハードルグラフを作成した。このグラフは自分のハードル技術を客観視できる。そしてこの基準線をクリアすることに得点が上がっていくシステムを採用している。その得点をグループで合算して競うことで、自身のハードリング技術の向上だけでなく、グループの仲間のハードリング技術にも興味を持ち、関わり合いや対話が増えることをねらった。



また、この教材は、8秒間走で実現している「統一と分化」という考え方に基いて構成している。「統一と分化」とは、子ども全員を统一的な目標、内容の獲得に向かわせつつ、能力差に応じた(分化した)個人の目標設定を可能にする工夫である。40メートルで4台のハードル走という条件を共通にし、ゴールする目標タイムを個人の能力に応じて分化させている。これは、運動の苦手な子どもも最後まで一生懸命に取り組んでほしいと願って作成した教材である。

↓修正後の単元構想シート





⑤学習の成果←

学級全員が3歩のリズムで走り越す技能を獲得した。記録が大幅に伸びた子どもも多く、そのことを視覚的にとらえることで、「みんなでいっしょにうまくなった」と実感できた。振り返りでは、「友だちが新記録を出してくれて今までで一番授業で感動した」や「努力すること、自分の課題を見つけて向き合うこと、仲間と協力することの大切さを学びました」と書いた子どももいた。また最初全くできなかった子どもの一人は、自主学习でハードルでできるようになったことを1ページにまとめてきた。多くの子どもにとって運動の喜びに触れることのできる学習になった。←

←

